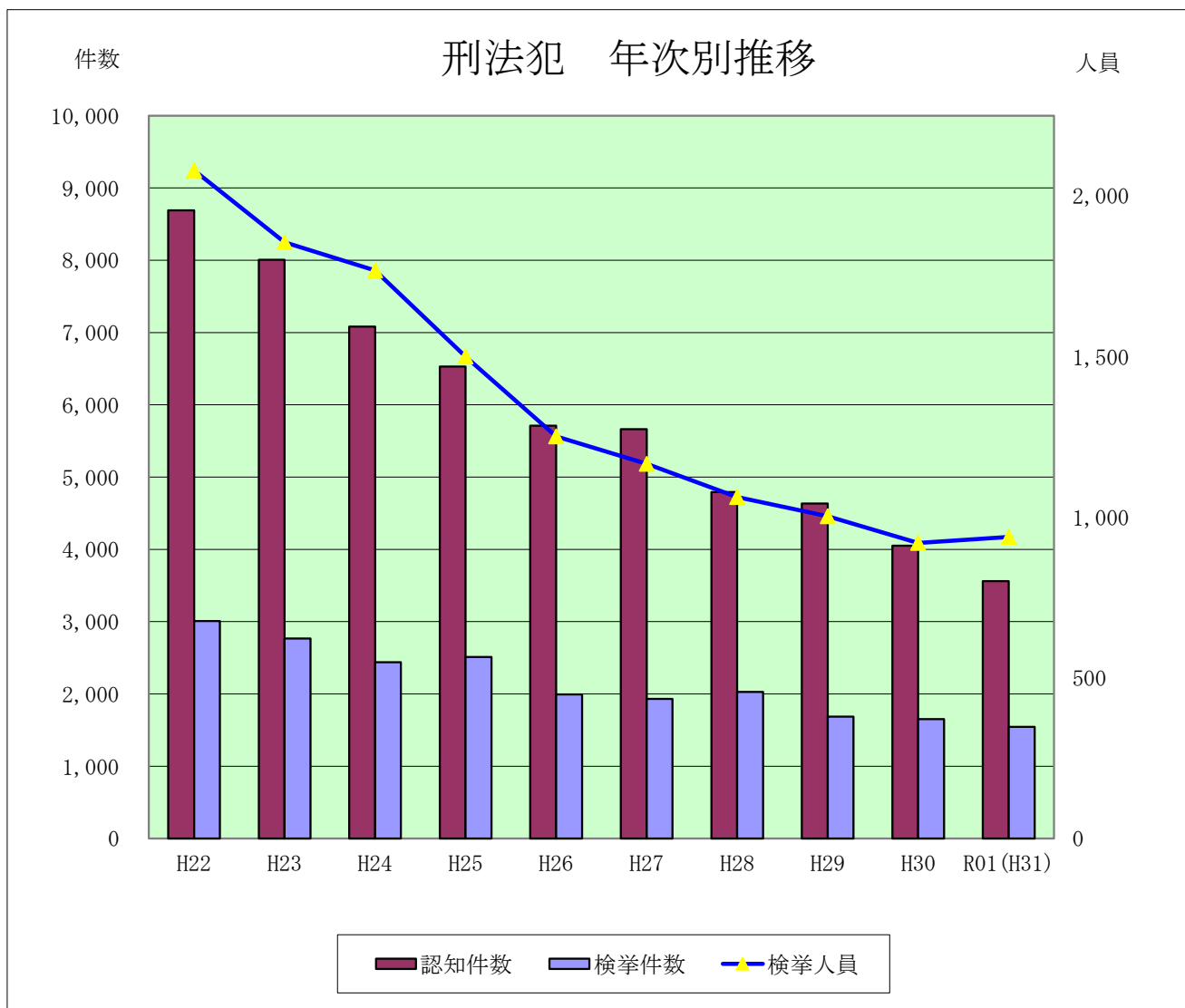


刑法犯の概況

1 刑法犯の年次別推移（過去10年間）

- 認知件数は、平成22年をピークに減少傾向。
- 検挙件数は、平成22年をピークに減少傾向。
- 検挙人員は、平成22年をピークに減少傾向。平成23年以降2,000人を下回る。



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01 (H31)
認知件数	8,689	8,007	7,082	6,530	5,710	5,664	4,792	4,635	4,052	3,562
検挙件数	3,008	2,767	2,439	2,511	1,992	1,930	2,027	1,685	1,652	1,545
検挙人員	2,080	1,856	1,768	1,500	1,252	1,166	1,063	1,003	920	939

2 令和元(平成31)年の刑法犯の認知・検挙状況

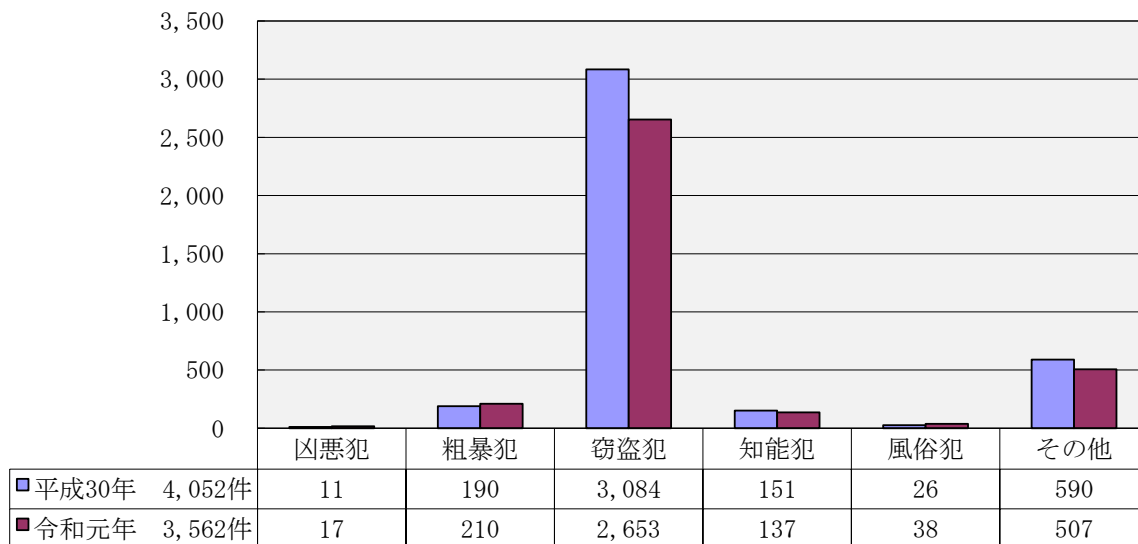
- 認知件数は3,562件で、前年同期に比べ490件減少。
- 検挙件数は1,545件で、前年同期に比べ107件減少。

包括罪種別	認知件数			検挙件数		
	令和元年 (平成31年)	平成30年	増減	令和元年 (平成31年)	平成30年	増減
刑法犯総数	3,562	4,052	-490	1,545	1,652	-107
凶悪犯	17	11	6	15	11	4
粗暴犯	210	190	20	164	161	3
窃盗犯	2,653	3,084	-431	1,080	1,163	-83
侵入盗	353	398	-45	266	329	-63
乗り物盗	1,083	1,138	-55	80	103	-23
非侵入盗	1,217	1,548	-331	734	731	3
知能犯	137	151	-14	88	139	-51
風俗犯	38	26	12	33	22	11
その他の刑法犯	507	590	-83	165	156	9

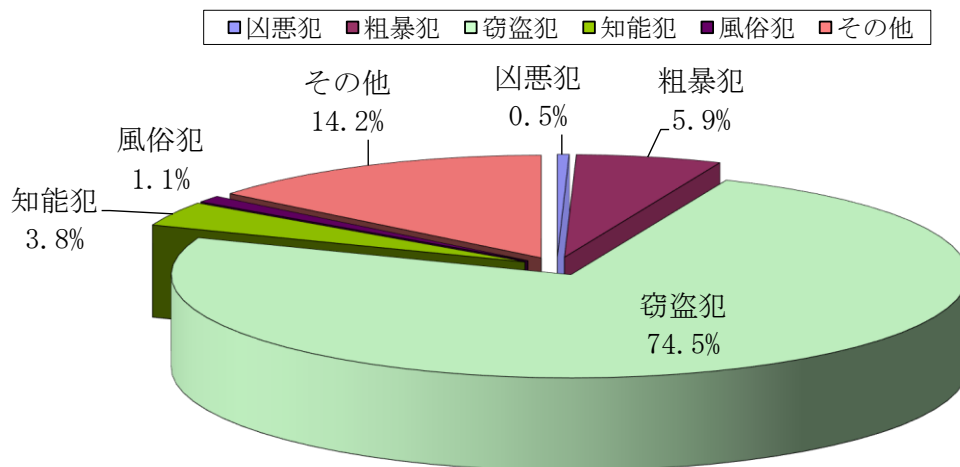
- 包括罪種とは、刑法犯のうち、被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括した分類名称。

包括罪種	罪 種
凶悪犯	殺人、強盗、放火、強制性交等
粗暴犯	凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
窃盗犯	窃盗
知能犯	詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得処罰法、背任
風俗犯	賭博、わいせつ
その他の刑法犯	上記以外の罪種(占有離脱物横領、住居侵入等)

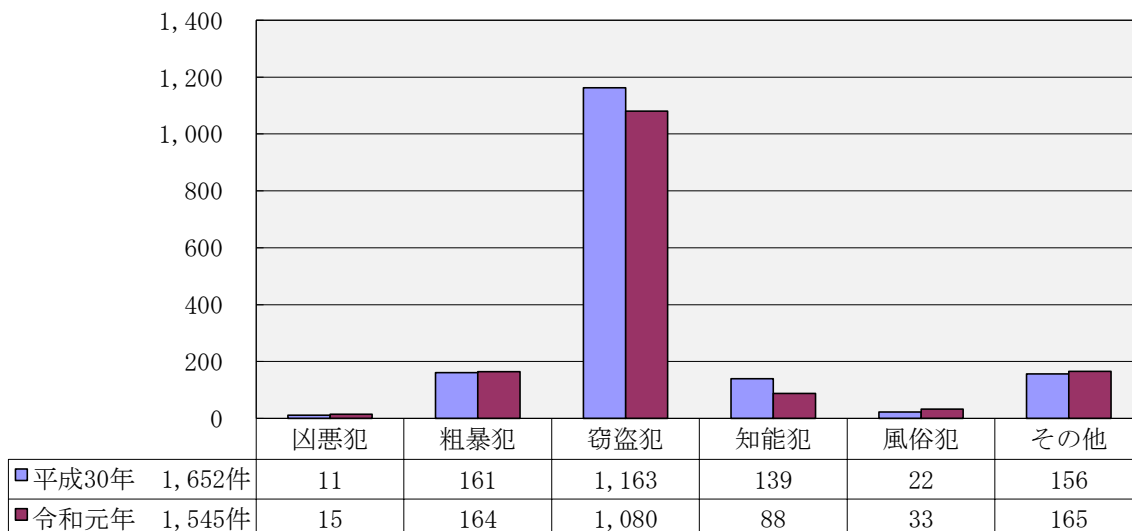
刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年比較



刑法犯 包括罪種別 認知構成比



刑法犯 包括罪種別 検挙件数 前年比較



3 市町村別刑法犯認知件数

市町村別	刑法犯総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
総数	3,562	17	210	2,653	137	38	507
高知市	2,258	8	135	1,721	81	20	293
室戸市	39		3	26	1	1	8
安芸市	60	1	4	46	1	1	7
南国市	225	2	10	167	16	1	29
土佐市	113	2	4	90		1	16
須崎市	59		7	43	1		8
宿毛市	97		12	61	5		19
土佐清水市	27	1	1	19	1		5
四万十市	115	2	3	85	3	2	20
香南市	119		6	93	1	3	16
香美市	110		2	96		1	11
東洋町	14		5	3			6
奈半利町	12			5		2	5
田野町	8			4	4		
安田町	21		2	18	1		
北川村	1			1			
馬路村	2			2			
芸西村	16		1	8			7
本山町	2				1		1
大豊町	13			9			4
土佐町	12			7			5
大川村	1						1
いの町	58		4	43	1		10
仁淀川町	19		1	14			4
中土佐町	13			6	2	2	3
佐川町	38		1	27	1		9
越知町	6		1	4		1	
禰原町							
日高村	8			5			3
津野町	9		2	6			1
四万十町	27	1		20	2	1	3
大月町	13			9	1		3
三原村	2				1		1
黒潮町	25		4	15	1		5
発生地不明	20		2		12	2	4